

平成30年度 第2回湯梨浜町泊地域小さな拠点検討協議会議

日 時 平成30年9月11日(火) 19時～

場 所 湯梨浜町中央公民館泊分館 2階大会議室

1. 開 会

2. 副町長あいさつ

3. 委員紹介

4. コーディネーター(内閣府 地域活性化伝道師)紹介・・・資料1

5. 会長、副会長の選出について

6. 泊地域小さな拠点検討協議会の今後の予定について・・・資料2

7. その他

8. 閉 会

湯梨浜町泊地域小さな拠点検討協議会委員名簿

任期：平成30年8月10日～平成32年8月9日（2年間）

敬称略

	区分	役職	氏名	備考
1	産 鳥取県漁業協同組合 泊支所	組合員	朝日田 卓朗	
2	産 湯梨浜町商工会	副会長	石沼 友	
3	産 鳥取中央農業協同組合 泊支所	組合員	尾川 寛信	
4	福 社会福祉法人 湯梨浜町社会福祉協議会	事務局長	西田 貴頼	
5	金 株式会社山陰合同銀行 松崎支店	支店長	澤 志任	
6	泊総区代表		中尾 輝夫	
7	公募		田嶋 昭彦	
8	公募		坂田 克	
9	公募		遠藤 公章	
10	公募		渡辺 由佳	
11	公募		石井 美佳代	

	湯梨浜町	副町長（地方創生担当）	仙賀 芳友	
	湯梨浜町みらい創造室	室長	遠藤 秀光	事務局
	湯梨浜町みらい創造室	主事	谷岡 雅也	事務局

地域活性化伝道師について

事業概要

地域の活性化に向け意欲的な取組を行おうとする地域に対して、地域興しのスペシャリスト(地域活性化伝道師)を紹介し指導・助言を行う。

地域活性化伝道師登録数、実績及び活用方法

○地域活性化伝道師登録数：357名（平成30年4月1日現在）

※推進室HP (<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tihki/ouentai.html>) において公開分野別登録数（重複を含む）

1. 地域産業・イノベーション・農工商連携	2. 農・林・水産業	3. 観光・交流	4. 環境	5. まちづくり	6. 地域コミュニティ・集落再生	7. 地域医療、福祉・介護、教育	8. 地域交通・情報通信
125人	62人	110人	30人	143人	89人	27人	12人

○平成29年度実績：地域活性化伝道師4名を全国4地域に派遣

- 活用方法：①各自治体及び団体等が、課題解決への取組みに適した伝道師を選び、任意に招へいや相談を行う。
 ②地方創生推進事務局が、地域に対する助言等の一環として、取組熟度が相当程度高く、支援する意義が特に高いと判断される場合に、地域活性化伝道師を当該地域へ派遣する。

モデル地域における指導内容イメージ

①地域のリーダーの育成

地域活性化伝道師の講義を受け、取組の立ち上がり段階における実行プランの企画、取組の実施体制の構築を後押し。



②取組の実施段階

実行プランに基づき取組を実施拡大していく上で必要となる人員を確保し、スキルアップ研修などの実施を後押し。



③取組の事業化段階

地域リーダーが中心となって、地域の産学官連携で商品開発を進め、事業化に必要な経営や広告・宣伝のノウハウを伝授。



④販路拡大・雇用創出

マーケティング・販路拡大の支援を実施することにより、地域の新たな産業として定着。これがモデルとなり、地域間連携により、広域的に波及。



地域の成長力強化・雇用創出に資するよう、これらを支える地域人材力の強化について地域活性化伝道師が切れ目なく支援

地域活性化伝道師プロフィール		分野	地域産業・イノベーション・農商工連携 地域医療、福祉・介護、教育 地域コミュニティ・集落再生 地域交通・情報通信	<input checked="" type="radio"/> 職・技・水準業 <input checked="" type="radio"/> 観光・交流 <input checked="" type="radio"/> 環境 <input checked="" type="radio"/> まちづくり	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
ふりがな		さわだ としみち			
氏名		澤田 廉路			
所属	名称	鳥取大学／地域価値創造研究教育機構			
	役職	地域連携PBL推進室長／特命准教授			
連絡	住所	〒680-8550 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目110番地 (職場)			
	連絡先	E-Mail sawada-t[アットマーク]adm.tottori-u.ac.jp ; sawadarenji[アットマーク]gmail.com TEL 0857-31-5940 FAX -			
	連絡方法	E-Mailでお願いします			
略歴		<ul style="list-style-type: none"> ・1954年鳥取県岩美町浦富生まれ ・大阪大学大学院工学研究科博士課程修了 博士(工学) 一級建築士 ・1980年鳥取県庁入庁後、住宅行政、まちづくり行政、地域振興政策を担当 ・2003年(財)とっとり政策総合研究センター研究部長代理 ・2007年経済産業省中国経済産業局「中国地域におけるアニメ等コンテンツを活用した地域振興方策」検討委員 ・2007年鳥取県中部ふるさと広域連合新斎場建設検討委員会委員(副委員長) ・2009年鳥取県自治研修所教授・鳥取県職員人材開発センター教授、等を経て ・2013年鳥取大学地域学部特命准教授(地域再生担当) ・2013年鳥取県智頭町景観計画策定審議会委員(副委員長) ・2014年鳥取県鳥取力創造運動推進委員会委員(委員長) ・2015年鳥取県智頭町文化的景観保存活用委員会委員(副委員長) ・2016年鳥取大学学長室特命准教授 ・2016年鳥取県トトリズム推進委員会委員(委員長) ・2017年鳥取大学地域価値創造研究教育機構 地域連携PBL推進室長 			
著作・論文等		共著: 21世紀を拓く地域づくり読本(文理閣)、中国地方のまち並み(中国新聞社)、「地方創生」から「地域経営」へーまちづくりにとめられる思考のデザイナー(仕事と暮らしの研究所)鳥取県の楽しみ方【鳥取県の楽しみ方刊行委員会】 単著: 歴史的まちなみの再生一倉吉、鹿野、智頭のまちづくりに関する研究(とっとり政策総合研究センター)、河童之介天神川ものがたり(建設省倉吉工事事務所)他 論文: 境港市の「水木しげるロード」整備と商店街の変容に関する考察(国際交通安全学会)、地方都市の漫画キャラクターを活用した商店街活性化プロセスに関するエアーマネジメントの研究(日本建築学会)、地域資源を活用した地方都市中心市街地における地域マネジメントに関する研究(大阪大学大学院博士論文)他			
取組概要		【地域衰退を再生させた主な取組実績】 ■1. 地方中心市街地の再生実績 ・境港市、水木しげるロードの調査し、理論的にかつ情熱的に支援活動等を実施 ・倉吉市玉川白壁土蔵群を中心とする倉吉の街並み整備活動と活性化の実施 ・鳥取市鹿野町のまちなみ整備活動の推進(いんしゅう鹿野まちづくり協議会と一緒に「鹿野まち普請の作法」等も作成) ■2. 中山間地域の再生実績 ・鳥取県智頭町で、智頭杉「日本の家」等を手掛け、智頭町活性化プロジェクト集団に所属し、日本0/1(ゼロ分のイチ)運動の活動支援、四面会議システム等の活性化手法に携わる ・いなばのジビエ推進協議会を全国に先駆けて立ち上げて、中山間地域の獣害対策と厄介者を活用した地域振興の支援を実施 ■3. 地域を活性化させる研修教育 ・行政、大学(教員・学生)、住民、NPO関係者等との課題解決型研修を行ってきた 様々な異なる主体の人々を結びつけ一緒にグループワークを行なうことで課題解決に向かう手法を学ぶ研修を実施			
メッセージ		【地域づくりは「地域経営」の視点で】 ■ 地域に住む全ての人々が主体的に地域に内在する人、物、事、技術、文化、社会システムなどあらゆる資源を総動員して、価値化する考えで行動する。それが「地域経営」の視点であり地域を豊かに持続させる要諦である。 ■ 無から有を生み出そうとする「ゼロ」から「イチ」への律動が地域を拓く ■ 「ゼロ」から「イチ」への律動がエマージング(創発)思考となりそれが共有されて地域は望ましい社会へと展開される ■ 地域を拓く3つのコンセプトは「住民自治」「地域経営」「交流情報」			
関連ホームページ				活動エリア	全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メール送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

泊小さな拠点整備のスケジュールについて(未定稿)

区分	H30年度			H31年度			H32年度			H33年度		
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
買い物機能	提案書提出	基本計画策	基本設計	実施設計	工事					運営		
役場機能・コミュニケーション機構	提案書	基本計画策	基本設計	実施設計 耐震補強設計	工事					運営		
検討協議会	提案書	店舗運営方法検討	店舗運営組織設立	店舗運営準備						運営		

基本計画策定、基本設計、実施設計に関して協議、意見提案